

# ありがとう

## 【教育目標】

○自分の可能性に挑戦し  
人のために動ける児童の育成

## 【合い言葉】

○「ありがとう」でつながる大畑小

発行 森下秀一

## 新型コロナウイルス感染症と私たちの生き方

先日正月を迎えたと思ったら、もう1月が終わろうとしています。よく「一月往ぬる、二月逃げる、三月去る」と言いますが、あっという間に時間が過ぎていくような気がします。

一日一日を大切にしなければならないと、改めて思ったところです。

さて、1月中旬から新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、熊本県でも深刻な状況になっております。

本校ホームページでも、新型コロナウイルス感染症対策に関連するお知らせを随時掲載するように努めております。

右のQRコードからアクセスしていただくとご覧いただけますので、どうぞご利用いただきますようお願い申し上げます。

感染拡大を防ぐためには、一人一人が正しい情報を持ち、可能な感染対策を継続していくしかないと思います。



**しかし、どんなに感染対策をしても、感染力の強い新型コロナウイルス（オミクロン株）に感染してしまうことは、誰にでもあり得ます。**

**どうか皆様、差別や偏見により、体ばかりでなく心まで傷ついてしまう人がでないようご理解とご協力をお願いいたします。**

「ウィズコロナ」という言葉を最近よく聞くようになりました。「新型コロナウイルスとの共存・共生」という意味で使われている言葉です。

新型コロナウイルスそのものを、私たちは直接見ることはできません。

「ウィズコロナ」という言葉は、**私たち一人一人の周りの人たちに対する思いやりの行動を問うているのではないかと思います。**

## 大畑小の研究と子どもたちの成長

大畑小学校では、令和3年度の研究主題を【「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善】として、それぞれの教科や学年でよりよい授業の在り方について研究を進めてきました。

3学期は、いよいよ研究のまとめになります。

今週（1/25）は、球磨教育事務所の溝口指導主事（情報教育の専門家）をお招きして、6年生理科の授業を参観してもらい助言いただきました。

今回は、**本校の研究の紹介も兼ねて、学校で子どもたちはどのような学習をしているのかをお知らせいたします。**

6年生理科で学習している単元は、「私たちの生活と電気」です。「持続可能な電気の利用のために、生活の中でどのように電気を利用すればよいか」という大きな課題を解決するために学習を進めてきました。

6年生ともなると、大人が考えるべき問題と同じようなテーマで学習しています。

6年生の視線が洲上先生に集中しています



発表者を見る人を見て話を聞く6年生



ホワイトボードに自分の考えをまとめています



自分の考えをもって、グループ協議をしています



協議の後に、実験を始めました



一人一人が主体的に活動をしています



今日の学びを生活にフィードバックしている場面です



授業の導入で、前の学習の復習を必ず行うようにしています。特に、気を付けていることは子どもたちの前時の「振り返り」を授業に活かすことです。

プレゼンソフトを利用して視覚化することで、「**明るさセンサー**」を使ったプログラムについて、短時間で復習することができました。

さて、この日の学習のめあては、「**人感センサーを使って、より人の役に立つプログラムに書きかえよう**」でした。（**プログラミング教育は、今回の学習指導要領の改訂で、新たに追加された学習です**。小学校の教育も社会や時代に合わせて変化しています。）

主体的・対話的で、深い学びを実現するには、学習態度の育成は欠かせません。6年生は、先生や友達の話を目でなく、目でも聴くことができます。

指導主事からも、6年生の**学習に対する構えがしっかりできている**ことをほめていただきました。

対話による学習を成立させるためには、一人一人が自分の考えをもっていることが大切になります。

この日は、グループや全体での話し合いがスムーズにできるように、ホワイトボードに自分の考えをまとめていました。明るさセンサーや人感センサーをどんな順序でつなぐのかしっかり考えています。

左は、一人学びで自分の考えをもった後に、グループ協議を行っている様子です。

それぞれの考えを伝え合うことで自分の考えがより明確になるとともに、間違いに気づいたり、新しい考えが浮かんできたりします。

その後、いよいよ実験開始です。

**どの班も男女が協力しながら実験を進めている**姿に、指導主事は感心していらっしゃいました。

この日は、学習を深めるために、3つの班が違う課題で取り組みました。

1班は「体の不自由な人に役立つプログラム」、2班は「お年寄りに役立つプログラム」、3班は「災害が起きた時に役立つプログラム」でした。

それぞれのプログラムの共通点について、話し合う中で、6年生は「**人に**

**役立つプログラムが、環境にも優しいプログラムである**」ことに気付くことができました。

6年生の成長した学びの姿に、いろいろな思いが込み上げてきました。（ありがとう 6年生！）

今回、理科学習における「主体的・対話的で、深い学び」の様子をご紹介しました。

お分かりのように、**私たちの子どもの頃とは学習内容も学習の方法も大きく異なっています**。

私たちは、今後も研究を継続し、大畑小の子どもたちの力を伸ばす授業に取り組んでいきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、**大畑小学校の授業を直接見ていただき、一緒にこれからの教育に考えていただけたら幸いです**。